2章　冷戦と第三世界の独立Ⅱ

問題

【1】

解答

(1) d　(2) e　(3) a　(4) b　(5) d　(6) c　(7) d　(8) e
(9) c　(10) d　(11) a　(12) d　(13) c　(14) d　(15) b　(16) e
(17) a　(18) d　(19) b　(20) a　(21) a　(22) b　(23) d　(24) a
(25) a

解説

問題のレベルは標準だが，こういった問題から自分の盲点が見えることがある。文章1つあたり1分程度で解いておきたい。間違えた内容は必ず教科書・用語集・資料集を通して再確認しておくこと。間違いは「たまたま」ではなく，必然に起きていることを真摯に受け止めよう。

(1) 1941年8月，合衆国のフランクリン＝ローズヴェルト大統領（任1933～45）とイギリスのチャーチル首相（任1940～45，51～55）が大西洋上で会談し，大西洋憲章を発表した。大西洋憲章に基づいて，1942年1月1日に連合国共同宣言が発表された。

(2) 1944年8～10月に行われたダンバートン＝オークス会議で，合衆国・イギリス・ソ連・中国の代表が集まって国際連合憲章の原案が作られた。1945年4～6月には50カ国の代表が出席してサンフランシスコ会議が開かれ，国際連合憲章が採択された。

(3) 国際連合（国連）は，常設の国際平和機構として，世界の平和や安全の維持，社会・経済の発展，基本的人権の擁護，国際紛争の解決などを目的に設置された。国際連合の主要機関には，総会・安全保障理事会・経済社会理事会・信託統治理事会・国際司法裁判所・事務局がある。

(4) 1944年に連合国側の代表が集まって開かれたブレトン＝ウッズ会議で，国際通貨基金（ＩＭＦ）と国際復興開発銀行（ＩＢＲＤ）の設置が決められた。国際通貨基金の本部はワシントンに置かれた。

(5) 第二次世界大戦後のフランスでは，1946年に成立した第四共和国憲法に基づいて，第四共和政が発足した。短命の政権が多く，政治は安定しなかった。

(6) 第二次世界大戦後，日本は連合国軍に占領され，日本占領連合国軍最高司令官であるマッカーサーの下で，民主的改革が行われた。その主なものは，農地改革・財閥解体・教育改革などであった。農地改革では，自作農が創設された。

(7) ドイツと日本の戦争犯罪人を裁くために，それぞれニュルンベルク裁判と東京裁判（極東国際軍事裁判）が行われた。東京裁判の結果，東条英機など7人が死刑となり，そのほかに終身禁固刑が16人，有期禁固刑が2人であった。

(8) 1898年のアメリカ＝スペイン戦争（米西戦争）後，フィリピンは合衆国領となった。合衆国では1934年にフィリピン独立法が成立し，翌年にフィリピン人の国民投票で憲法が批

准され，自治が始まった。第二次世界大戦中は日本に占領されたが，戦後の 1946 年にフィリピン共和国として完全独立を達成した。

⑼　ヴェトナムでは，第二次世界大戦後の 1945 年 9 月，ホー＝チ＝ミンを初代大統領（任 1945 ～ 69）とするヴェトナム民主共和国の独立が宣言された。しかし，宗主国であったフランスはこれを認めず，1946 年に両者の間でインドシナ戦争が始まった。1954 年のジュネーヴ休戦協定で戦争が終結し，フランス軍は撤兵したが，以後，合衆国軍がヴェトナムに介入した。

⑽　中国では 1937 年に第 2 次国共合作が成立し，蔣介石率いる中国国民党と毛沢東らの率いる中国共産党が協力して抗日運動を行っていた。しかし，第二次世界大戦末期になると中国国民党と中国共産党の対立が再燃した。その結果，国民の支持を得た中国共産党軍が中国国民党軍に勝利し，1949 年に中華人民共和国の独立を宣言した。敗れた中国国民党は台湾に逃れた。

⑾　中国は 1950 年 2 月にソ連と中ソ友好同盟相互援助条約を結んだ。この条約は日本と合衆国を仮想敵国とする軍事同盟であった。

⑿　第二次世界大戦後の合衆国を中心とする西側諸国と，ソ連を中心とする東側諸国の対立は，“ 冷たい戦争（冷戦）” といわれた。1946 年にイギリスの政治家チャーチルは演説の中で，「バルト海のシュテッティンからアドリア海のトリエステまで “ 鉄のカーテン ” が下りている」と述べ，ソ連の閉鎖性を指摘した。

⒀　1949 年 4 月，合衆国・イギリス・フランスなど西側 12 カ国が，北大西洋条約機構を結成した。これはソ連に対抗する軍事同盟であった。のちに，ギリシア・トルコ・西ドイツなどが加盟した。

⒁　1947 年に合衆国が発表したマーシャル＝プランに対抗して，49 年にソ連と東側諸国の経済協力機構としてコメコン（東欧経済相互援助会議）が設立された。東ヨーロッパ諸国の民主化が進むと存在意義が失われ，1991 年に正式に解散した。

⒂　南北に分断されていた朝鮮で，1950 年，朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が境界線を越えて南に侵攻した。ソ連の代表が欠席した国際連合の安全保障理事会で北朝鮮側の行動が侵略とされ，合衆国軍を中心とする連合国軍が韓国軍を援助するために出動した。そのため，北朝鮮軍は北緯 38 度線付近まで押し戻され，さらに国連軍は北に進撃した。これに対して中国が北朝鮮側に立って義勇軍を派遣した。以後，戦局は北緯 38 度線付近で膠着状態となった。1951 年から休戦会談が始まり，53 年に停戦が成立した。

⒃　合衆国のアイゼンハウアー政権（1953 ～ 61）の国務長官であるダレスは，それまでの “ 封じ込め政策 ” は消極的であるとして，対共産圏への武力の攻撃も辞さないという “ 巻き返し政策 ” を主張した。

⒄　1955 年 4 月，アジア・アフリカの 29 カ国の代表がインドネシアのバンドンに集まって，アジア＝アフリカ会議（バンドン会議）を開いた。インドのネルー，インドネシアのスカルノ，中国の周恩来らを中心に議論が行われ，基本的人権と国連憲章の尊重，主権と領土の保全などの平和十原則を確認した。

⒅・⒆　ソ連の独裁者として君臨してきたスターリンが 1953 年に死去すると，ソ連の政策に変化が現れた。1955 年に合衆国のアイゼンハウアー大統領，イギリスのイーデン首相，フ

ランスのフォール首相，ソ連のブルガーニン首相が集まってジュネーヴ４巨頭会談が行われた。1956 年に開かれたソ連共産党第 20 回大会ではスターリン批判が行われ，平和共存路線が主張された。また，1959 年にはソ連の最高指導者として初めて，フルシチョフが訪米した。こうした東西両陣営間の緊張緩和は，“雪どけ”といわれた。

⑳　フランス外相のシューマンが提唱したシューマン＝プランに基づき，フランス・西ドイツ・オランダ・ベルギー・ルクセンブルク・イタリアの６カ国は 1952 年に，ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体を発足させた。1958 年にはヨーロッパ経済共同体とヨーロッパ原子力共同体が発足した。これら３つの機関を統合して，1967 年にヨーロッパ共同体が成立した。

㉑　1960 年代末から合衆国とソ連の間で戦略兵器制限交渉（ＳＡＬＴ）が進められ，72 年にＳＡＬＴ Ⅰが調印された。1987 年には中距離核戦力（ＩＮＦ）全廃条約が調印され，米ソ両国が初めて核兵器の削減に同意した。1982 年に始まった戦略兵器削減交渉（ＳＴＡＲＴ）では，91 年にＳＴＡＲＴ Ⅰ（第１次戦略兵器削減条約）が調印された。さらに 1993 年には，合衆国とロシアの間でＳＴＡＲＴ Ⅱ（第２次戦略兵器削減条約）が調印された。

㉒　合衆国は中華人民共和国を承認せず，台湾の中華民国政府（蔣介石の国民政府）を支援していたが，1971 年に国連総会において圧倒的多数により，中華人民共和国の国連復帰と台湾の中華民国政府の追放が可決された。1972 年に合衆国のニクソン大統領（任 1969 ～ 74）が中国を訪問して米中共同声明を出した。1979 年には合衆国が中国との国交を正常化し，台湾の中華民国政府と断交した。

㉓　1985 年にソ連共産党の書記長に就任したゴルバチョフは，国内ではペレストロイカといわれる改革を進め，外交面では従来の冷戦外交とは異なる柔軟な外交政策である“新思考外交”を進めた。ゴルバチョフの政策はソ連国内に大きな変革を起こした。1991 年８月に起こった保守派による反ゴルバチョフ＝クーデタは失敗に終わったが，ゴルバチョフは書記長を辞任し，ソ連共産党の解散を宣言した。同年９月にはバルト３国の独立が承認され，12 月にはロシア連邦を中心に独立国家共同体が結成されたことで，ゴルバチョフは大統領を辞任し，ソ連は消滅した。

㉔　合衆国のレーガン大統領（共和党；任 1981 ～ 89）は，新型核兵器を開発するなど軍備拡張を行い，共産圏との力の対決を主張した。軍事費が増大したために合衆国の経済状況は悪化し，1985 年には債権国から債務国になった。

㉕　国連のＰＫＯ（平和維持活動）は，地域紛争の拡大を防止するために国連が小規模の軍隊などを現地に派遣して，停戦や兵力引き離し，治安維持などを中立的に行う活動をいう。

【2】

解答

問１　総会は全加盟国により構成される。安全保障理事会は，合衆国・イギリス・フランス・中国・ロシアの５常任理事国と，任期２年の 10 非常任理事国で構成される。総会は１国１票の多数決で議決がなされる。安全保障理事会では拒否権を有する常任理事国の一致の上での多数決で議決される。

問２　1963 年に部分的核実験停止条約が合衆国・ソ連・イギリス間で結ばれ，68 年には米ソの提案で核拡散防止条約が国連総会で採択された。戦略兵器制限交渉も 1969 年から交渉が

開始されていたが，72 年に条約調印された。1987 年には中距離核戦力全廃条約が，冷戦終結後の 91 年には戦略兵器削減条約が米ソ間で調印された。

問３　1979 年にソ連がアフガニスタンに軍事介入し親ソ派の支援を行うと，合衆国は反ソ派ゲリラを支援し，内戦が激化した。1989 年のソ連軍撤退後も内紛が続き，その中でターリバーン政権が国土の大半を実効支配していった。しかし，2001 年の同時多発テロを機に合衆国は同政権を攻撃して崩壊させ，翌年に新政権を成立させた。

解説

慶應大経済学部で例年出題される論述問題は，私大論述の中では最高峰の難易度。字数が明示されていないため，答案作成に悩むこともあっただろう。私大論述は，①問題文で要求された内容を過不足なく書き，②その上で必要な補足説明を（解答欄に応じて）加える，という手順で進めよう。因みに解答欄は問１が 19.8cm × 3 行，問２・問３が 19.8cm × 4 行である。１行当たり 35 字程度を目安に書けるとよい。40 字以上になるとやや書きすぎか。

問１　国際連合（国連）は全加盟国により構成され，総会では加盟各国が１票を有し，重要問題は３分の２以上の賛成で，一般事項は過半数の賛成で議決がなされる。重要事項とは国際平和および安全の維持に関する勧告，各理事会の理事国選挙，新加盟国の承認などをさす。安全保障理事会（安保理）の常任理事国は，1945 年の国連発足時は合衆国・イギリス・フランス・ソ連・中国（中華民国）であった。1949 年に中国共産党により中華人民共和国が樹立され，中国国民党による中華民国政府（国民政府）は台湾に逃れることとなった。この後も合衆国や日本は中華民国を支持して，中国の国連代表権の中華人民共和国への変更に抵抗した。しかし，1971 年の総会で国連代表権は中華人民共和国に変更され，中華民国政府の代表は国連から追放された。1991 年にソ連が解体されると，ソ連代表の地位はロシアが継承した。非常任理事国は，国連発足当時は６カ国であったが，植民地の独立などで加盟国が増加したことから，1965 年に 10 カ国に増やされた。

問２　キューバ危機を経験したことから，翌 1963 年に合衆国・イギリス・ソ連の３国間で部分的核実験停止条約が調印された（この取り決めを強化し，一切の核実験を禁止する包括的核実験停止条約が 1996 年に国連総会で採択されたが，この問では「ソ連解体まで」，つまり 91 年までが問われているので書く必要はないし，書いてはいけない）。1968 年には核兵器保有国の増加を嫌い核拡散防止条約が結ばれる。1970 年代のデタントの推進により，米ソ両国は開発・維持に多大な費用を必要とする核兵器に関する交渉を進めていく。戦略兵器制限交渉（ＳＡＬＴ）は 1972 年に第１次条約（ＳＡＬＴ Ⅰ）が調印され，79 年に第２次条約（ＳＡＬＴ Ⅱ）が調印されたが，同年のソ連によるアフガニスタン侵攻を理由に合衆国が批准を拒み，85 年に失効した。1987 年に調印された中距離核戦力全廃条約では，３年以内の中距離核戦力（ＩＮＦ）の全廃が決まり，冷戦終結後の 91 年の第１次戦略兵器削減条約（ＳＴＡＲＴ Ⅰ）で核弾頭や核兵器の運搬手段の制限を決めた。

問３　アフガニスタンは 1973 年にクーデタで王政から共和政に移行し，78 年には社会主義勢力がクーデタを起こして社会主義政権が成立したが，この政権はソ連と距離を置いた。これに対してソ連は 1979 年に親ソ連のカルマル政権の樹立を支援してアフガニスタン侵攻を行った。以後，反政府ゲリラとの長期にわたる内戦が続き，86 年にカルマル政権は崩壊，

ナジブラ政権が成立した。1985年にゴルバチョフがソ連共産党書記長に就任すると，88年からソ連軍のアフガニスタンからの撤退が始まり，翌年に完了する。ソ連撤退でナジブラ政権が崩壊し，国内の内乱状態が激化する中，イスラーム原理主義組織ターリバーン（タリバン）による政権が国際テロ組織アル＝カーイダと結託して勢力を拡大し，国内の実効支配権を握った。2001年の同時多発テロの後，合衆国は事件の首謀者ビン＝ラーディンをターリバーン政権がかくまっているとの嫌疑からアフガニスタンを攻撃し，ターリバーン政権を崩壊させた。2002年には日本でアフガニスタン復興会議が開かれ，新政権が成立した。

【3】

解答

問1　(1)　A　5　　B　4　　C　2　　D　1

　　(2)　a　1　　b　4　　c　1　　(3)　ア　1　　イ　5　　ウ　3

　　(4)　あ　1　　い　2　　う　1

問2　(1)　a　4　　b　6　　(2)　A　1　　B　6

問3　(1)　a　4　　b　3　　c　2　　d　6　　e　8　　(2)　4

　　(3)　2　　(4)　2

問4　4　　問5　4　　問6　2　　問7　2→3→1→4

解説

世界恐慌期の合衆国など主要諸国の経済政策に関する出題。問1のグラフの読み取りや問3の年表などは，慶應大経済学部の典型問題である。本文の内容が経済寄りのやや難しいものに感じた人も多いかとは思うが，とくに経済学部・商学部を狙う人は，経済に対するこの程度の考え方の基本姿勢を持った上で，入学を志望してほしいところだ。戦前～戦後の経済グラフは資料集や教科書にいくつか掲載されているので，これらも併せて確認しておこう。

問1　(1)　それほど難しくはないが，ここでA～Dの国を正しく判断しておかないと(2)・(3)・(4)に影響するため要注意。

A　「1930年代」「軍国主義化」がキーワード。1931～33年の満州事変などを想起すれば日本であると判断できる。

B　1935年の再軍備宣言からドイツが該当する。再軍備宣言は住民投票によるザール編入が契機となった。

C　「連邦」とあることからソ連を連想するかもしれないが，正解はイギリスである。グラフの下降状況は資本主義国家のものと同じであるため（ソ連は1929年以降も急激な右上がりグラフを描く），イギリスと解答できるだろう。第一次世界大戦でイギリスが勝利した背景には植民地・自治領の協力があった。そのため自治領の地位は1926年のイギリス帝国会議でイギリス本国と（イギリス王に忠誠を誓うという形で）対等な関係にまで上昇し，31年のウエストミンスター憲章でその地位は正式なものとなった。

D　生産の回復が「もっとも遅かった」とあることから合衆国である。ドイツよりも遅かったという点に注意。

(2)　a　ダンピングとは不当廉売（採算を度外視するような低い価格で商品を販売する）のこ

とで，自国が他国との競争で優位に立つために国際価格より意図的に安く商品を輸出することをさす。以上より該当するのは「輸出を促進」しかない。

b　オタワ連邦会議（イギリス連邦経済会議）で採択されたブロック経済に関する問題である。ブロック経済ではイギリス連邦の内部（イギリス本国・自治領・植民地の間）に特恵関税を設けた。これが連邦外の諸国にとって排他的関税障壁となり，「輸入の抑制」につながった。

c　ブロック経済の基本は輸入を制限→「輸出を促進」である。

(3)　いずれも(1)で国名がわかっていれば容易に正答できただろう。

ア　ナチス（国民社会主義ドイツ労働者党）の政策であるから四カ年計画（1936 開始）である。軍需産業・大土木工事で失業者を吸収することをめざすもので，アウトバーン（高速自動車道路網）の建設を推進した。

イ　(2)b の解説を参照のこと。イギリスが形成した経済ブロックは，スターリング＝ブロック（ポンド＝ブロック）と呼ばれる。

ウ　1933 年に合衆国でフランクリン＝ローズヴェルト政権が成立すると，国家が経済活動に介入しない自由放任経済をやめ，国家資本の投入や国家統制により経済の回復をはかる修正資本主義政策で３Ｒ政策：R elief（救済）・R ecovery（回復）・R eform（改革）とも呼ばれるニューディール政策（新規巻き直し政策）を実施した。

(4)　あ　イギリス連邦外の諸国に対しては排他的関税障壁を設けたため関税を「上げる」。

い　日本に当てはめて考えれば，円高は輸入に有利，円安は輸出に有利ということがわかっていれば問題ない。輸入を抑制するには通貨を切り「下げる」という政策を採る。

う　基本的に世界恐慌の時期には農作物・工業製品が余って値崩れしているのだから，ニューディール政策における農業調整法では農産物の価格を「上げる」（下落を防止する）ことがめざされた。

問２　(1)　国際連合（国連）の成立過程は頻出。1941 年８月，フランクリン＝ローズヴェルトとチャーチルが戦後の国際秩序と安全保障に関する８カ条（①領土不拡大，②領土不変更，③民族自決，④貿易の自由，⑤労働条件と社会保障の改善，⑥平和機構の再建，⑦海洋の自由，⑧軍備縮小）を掲げた大西洋憲章を唱えた。1943 年のモスクワ３国外相会談（米英ソ３国；途中から中国も参加）で国際連合の創設について基本的に合意された。

a　1944 年にワシントン郊外のダンバートン＝オークスで会議が開催された。米・英・ソ・中４カ国の代表が国際連合憲章に大枠で合意した。

b　1945 年２月のヤルタ会談で国連における拒否権の問題が解決した。1945 年４月～６月のサンフランシスコ会議で連合国 50 カ国が国際連合憲章を採択，同年 10 月に原加盟国 51 カ国により国連が発足した。現在の加盟国数は 190 カ国を超えている。

(2)　ともに基本問題。それぞれの国の代表者名までいえるようになっておきたい。

問３　(1)　年表中に挙げられた諸事項の時期は次の通り。

アメリカ原爆実験成功…1945 年７月

チャーチル，鉄のカーテン演説…1946 年３月

マーシャル・プラン公表…1947 年６月

ブリュッセル条約調印…1948 年３月　※西ヨーロッパ連合条約のこと。

ベルリン封鎖開始…1948 年６月　※同年４月に一部封鎖開始。

ヨーロッパ経済協力機構（ＯＥＥＣ）結成…1948年４月
北大西洋条約調印…1949年４月
中華人民共和国成立…1949年10月
朝鮮戦争勃発…1950年６月
米比相互防衛条約調印…1951年８月
ＡＮＺＵＳ条約調印…1951年９月
日華平和条約調印…1952年４月
朝鮮戦争休戦協定調印…1953年７月
東南アジア集団防衛条約調印…1954年９月
米華相互防衛条約調印…1954年12月
バグダード条約調印…1955年２月　※トルコ＝イラク防衛条約のこと。
バグダード条約機構結成は同年11月。

(a)のコメコン創設は1949年１月，(b)のコミンフォルム結成は1947年９月，(c)のトルーマン＝ドクトリン発表は1947年３月，(d)の日米安全保障条約調印は1951年９月，(e)のワルシャワ条約調印は1955年５月の出来事である。

(2)　基本問題。ヨーロッパ経済協力機構（ＯＥＥＣ）は，ヨーロッパ経済の復興に伴って1961年に発展的解消し，経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）へと代わった。

(3)　ソ連軍は朝鮮戦争に参戦していない。

(4)　北大西洋条約調印は1949年４月，中華人民共和国成立は同年10月，ソ連の原爆実験成功は同年９月である。核保有国の保有順は頻出なのでこの機会に再確認しておこう。合衆国（1945）→ソ連（1949）→イギリス（1952）→フランス（1960）→中国（1964）→インド（1974）→パキスタン（1998）→北朝鮮（2005年に核兵器保有を宣言，2006年に核実験実施を宣言）。なお，１のキューバ危機は1962年，３のソ連のスプートニク１号打ち上げは57年，４のＵ２型機事件は60年５月の出来事である。

問４　やや難問か。1945年末に設立された国際通貨基金（ＩＭＦ）は，国際的な為替の安定をはかることが目的であり，関税の引き下げに努力する義務は含まれない。関税など貿易障壁を低減し，自由貿易体制の樹立をめざしたのはＧＡＴＴ（関税および貿易に関する一般協定）である。ＧＡＴＴは1986年からのウルグアイ＝ラウンドを最後に発展的解消し，1995年に世界貿易機関（ＷＴＯ）となった。

問５　基本問題。東南アジア条約機構（ＳＥＡＴＯ）は1954年に成立した合衆国を中心とする反共軍事同盟である。また，東南アジア諸国連合（ＡＳＥＡＮ）の組織とは関係ない。

問６　基本問題。1954年のジュネーヴ休戦協定では①北緯17度線を暫定的軍事境界線とするヴェトナムの分割，②２年後の南北統一選挙の実施などが示されたが，会議に参加した合衆国とバオダイ政権はともに調印しなかった。合衆国は1955年にバオダイを追放し，ゴ＝ディン＝ジエム（ディエム）を大統領とするヴェトナム共和国（南ヴェトナム）を成立させた。

問７　やや難問。

１　合衆国が債務国化したのはレーガン大統領（任1981～89）時代の1985年である。

２　主要国が変動相場制に移行したのはドル＝ショック（1971）後の1973年からである。

３　第４次中東戦争のＯＡＰＥＣによる石油戦略（第１次石油危機）を背景に1975年フラ

ンス大統領ジスカールデスタン大統領（任 1974 ～ 81）が提唱して第１回サミット（先進国首脳会議）が開催された。

4　1992 年のマーストリヒト条約によってヨーロッパ連合（ＥＵ）が 93 年に発足した。

【4】

解答

1	c	2	c	3	d	4	b	5	d	6	a	7	c	8	e
9	a・b	10	e	11	b	12	a	13	d	14	c	15	d	16	a
17	c	18	f	19	b	20	a	21	d	22	e	23	d	24	c・f
25	c														

解説

朝鮮戦争以降の朝鮮半島や中国，東南アジアの諸国を扱った問題。年代などでの取りこぼしをしないよう，間違えた箇所は教科書やテキスト・用語集などで再確認しておこう。

1　カイロ会談はフランクリン＝ローズヴェルト・チャーチル・蔣介石による 1943 年 11 月会談で，日本から中国への中国東北地方（満州）・台湾の返還，朝鮮の独立，日本の有する太平洋上の島々に関する領有権の放棄などが決まった。

2 ～ 4　1945 年２月，フランクリン＝ローズヴェルト・チャーチル・スターリンによるヤルタ会談でのヤルタ協定により，戦後ドイツの米・英・仏・ソ４カ国での分割占領と，ドイツ降伏後３カ月以内にソ連が対日参戦することが決まった。

5　朝鮮半島では，1945 年８月，日本の降伏直前に共産主義者を含んだ各界の指導者が建国準備委員会を結成し，９月には朝鮮人民共和国の成立を宣言したが，合衆国が認めず失敗に終わった。

6　日本の関東軍は遼東半島での日本の租借地（関東州）と南満州鉄道警備を目的として設置され，のちに日本の満州支配の中心的役割を果たした軍である。また，韓国（大韓帝国）の軍は 1907 年の第３次日韓協約で解散させられた。

7　基本問題である。

8　選択肢ｅに記されたような事実はない。なお，キャンプ＝デーヴィッドは合衆国大統領の山荘で，1959 年のフルシチョフ訪米時に米ソ首脳会談が行われている。

9　北大西洋条約機構（ＮＡＴＯ）へのトルコの加盟は 1952 年，ドイツ連邦共和国（西ドイツ）の加盟は 55 年である。

10　1928 年に北伐が完成したことで，中華民国による中国統一が一応完成した。

11・12　政治協商会議は 1946 年１月に重慶で開催され，中国国内の主要な政治勢力が集合した。合衆国特使マーシャルの仲介で国共の停戦協定が成立していたが，同年の７月には中国国民党側が停戦を破り，国共内戦が再開された。

13　1947 年の中国土地法大綱の公布で，地主の土地の没収と農民への分配が示され，農民層の中国共産党支持が強まった。

14　1950 年に結ばれた中ソ友好同盟相互援助条約は，60 年代以降の中ソ対立の中で有名無実化してはいたものの存在し続け，規定の 30 年目に更新されなかったことで解消された。

15・16　李承晩を大統領とする大韓民国の建国は1948年８月，金日成を首相とする朝鮮民主主義人民共和国の建国は同年９月のことである。

17・18　朝鮮戦争では，北朝鮮の軍事行動が国連安全保障理事会で侵略行為と認定されると，合衆国軍を主力とする国連軍が1950年９月に仁川から上陸・北上し，北朝鮮の首都である平壌（ピョンヤン）を占領した。

19　中国と朝鮮の国境は伝統的に鴨緑江と豆満江（トマン川）のラインである。

20　バオダイは阮朝最後の王で，1945年にホー＝チ＝ミンによるヴェトナム民主共和国の樹立に際して退位したが，インドシナ戦争（1946～54）の最中の49年にフランスが南ヴェトナムに樹立したヴェトナム国の主席として擁立した。

21　朝鮮戦争中の1950年10月，中華人民共和国は北朝鮮に義勇軍を派遣した。

22　マリクは1948年に国連安全保障理事会のソ連代表に就任し，51年に朝鮮戦争の休戦を提案した。

23　1954年の中国・インド間でのチベット協定は，正式名称を“チベット・インド間の通商および交通に関する協定”といい，その中で示された外交原則が平和五原則である。

24　コロンボ＝グループは，インド・インドネシア・セイロン（現スリランカ）・パキスタン・ビルマ（現ミャンマー）の５カ国である。

25　イ（中華人民共和国の建国；1949）→ニ（中ソ友好同盟相互援助条約の締結；1950）→ハ（三反五反運動の展開；1951～52）→ロ（中国の第１次五ヵ年計画の開始；1953）→ホ（中華人民共和国憲法の制定；1954年）の順である。

【5】

解答

問１　①　　問２　②　　問３　（ア）③　　（イ）①　　問４　（ア）⑤　　（イ）①

問５　④　　問６　①　　問７　（ア）④　　（イ）④　　問８　④　　問９　②　　問10　⑤

問11　③　　問12　①　　問13　①　　問14　①　　問15　①

解説

1968年に関する多岐にわたる問題。基本的な問題が多いが，戦後史や東ヨーロッパ・東南アジア史が苦手な人にとってはかなり差がついてしまう問題かもしれない。受験まで残り短い期間，得点底上げの最短経路は苦手の克服以外にない。解説を参照し，知識の定着をはかってほしい。

問１　フランス中部のヴィシーにドイツの傀儡政府を作ったのは，第一次世界大戦時にヴェルダン要塞で活躍したペタンである。

問２　西ドイツのブラント首相（ドイツ社会民主党；任1969～74）は東方外交を推進した。その具体例として，西ドイツ＝ソ連武力不行使条約の締結（1970），オーデル＝ナイセ線をポーランドとの国境として承認，東ドイツとの関係正常化（東西ドイツ基本条約；1972）とそれに伴う東西ドイツの国連同時加盟（1973）などが挙げられる。

選択肢の中ではブラントのほか，①のアデナウアーと⑤のコールが西ドイツの首相である。アデナウアー（キリスト教民主同盟；任1949～63）は“ラインの奇跡”と呼ばれる驚異的

な経済復興を実現した。対外的にも，パリ協定（1954）での主権回復と再軍備の開始，北大西洋条約機構（ＮＡＴＯ）への加盟（1955），ソ連との国交回復（1955）など，重要な事項が多い。ベルリンの壁構築（1961）も彼が首相であった時期の出来事である。コール（キリスト教民主同盟；任 1982 ～ 98）は 1990 年にドイツの再統一をなし遂げた首相である（大統領はヴァイツゼッカー）。

問３　（ア）　③が誤り。カストロやゲバラが親米的なバティスタ政権を打倒し（キューバ革命；1859），1961 年に社会主義宣言を行った。

（イ）　ジョンソン大統領（任 1963 ～ 69）はヴェトナム戦争で年代を把握するとよい。1965 年の北爆（北ヴェトナム爆撃）開始と 1968 年のパリ和平会談開始がポイントである。

問４　（ア）　チェコスロヴァキアでは，1968 年，ノヴォトニーに代わりドプチェクが第一書記に就任すると，国民の要望に応え“プラハの春”と呼ばれる自由化政策を推進した。

（イ）　ワルシャワ条約機構加盟国のうち，ルーマニアとアルバニアは1968年のチェコスロヴァキアへの軍事介入に参加しなかった。ルーマニアは 1958 年からコメコン（東欧経済相互援助会議）に反対して独自の工業化政策を進め，60 年代半ばからチャウシェスク政権の下で西側と活発に交流を行った。アルバニアはフルシチョフのスターリン批判と平和共存政策を批判し，中ソ対立では中国を支持，1961 年にソ連と断交し，68 年にはワルシャワ条約機構から脱退した。

問５　キング牧師は非暴力主義の立場から公民権運動を指導した運動家。1963 年のワシントン大行進で人種差別の撤廃を求め，これには 20 万人がワシントンに集結した。しかし 1968 年，“貧者の行進”の最中にメンフィス（テネシー州）で白人青年に暗殺された。

問６　①が誤り。“四つの現代化”は，鄧小平が 1970 年代後半から進めた農業・工業・国防・科学技術の現代化政策をさす。1966 年に始まるプロレタリア文化大革命は，毛沢東による劉少奇・鄧小平ら実権派（走資派）に対する奪権闘争の色彩が濃く，毛沢東の指導と権威のもと江青および王洪文・張春橋・姚文元の四人組が青少年から成る紅衛兵を組織・利用して推進された。林彪は 1969 年の九全大会で毛沢東の後継者に指名された人物であるが，1971 年に毛沢東暗殺をはかって失敗，ソ連への亡命途中で事故死したとされている。

問７　（ア）　④が誤り。タイのラタナコーシン朝（1782 ～）は帝国主義の時代も，ラーマ４世（モンクット；位 1851 ～ 68），ラーマ５世（チュラロンコン；位 1868 ～ 1910）の努力およびイギリス支配下のインド帝国とフランス支配下のインドシナ連邦の緩衝地帯として独立を維持した。

（イ）　④が誤り。カンボジアは 1863 年にフランスの保護国となり，フランス領インドシナ連邦（1887 成立）に組み込まれた。

問８　1904 年に維新会を組織したのはファン＝ボイ＝チャウである。①のティラクはインド国民会議派の指導者で，国民会議派カルカッタ大会（1906）の頃の人物。この会議では四大綱領（英貨排斥＝イギリス製品へのボイコット，スワデーシ＝国産品愛用，スワラージ＝自治獲得，民族教育）が採択された。②のホセ＝リサールはフィリピンの民族運動家。スペインの支配に対し，小説による啓蒙運動を行い，フィリピン同盟を結成（1892）するが，1896 年に処刑された。③のアギナルドはカティプーナンを率い，1896 年にルソン島で独立を求めて武装蜂起し，アメリカ＝スペイン戦争（1898）では合衆国に協力した。フィリピ

ンが合衆国領となると，1898 年に再び独立を宣言したが，フィリピン＝アメリカ戦争（1899 ～ 1902）で敗れた。⑤のアフガーニーはパン＝イスラーム主義者で，カージャール朝下のイランでのタバコ＝ボイコット運動（1891）やエジプトでのウラービーの反乱（1881 ～ 82）に影響を与えたとされる。

問 9　基本問題。ドンズー運動は 1907 年の日仏協約に基づき日本が在日ヴェトナム人留学生を弾圧したことで挫折するが，ファン＝チュー＝チンは帰国後の 1907 年にドンキン義塾を設立した。

問 10　基本問題。ホー＝チ＝ミン（胡志明／ペンネームは阮愛国）は 1925 年にヴェトナム青年革命同志会を中国の広東で結成し，知識人を中心とした反仏活動を展開した。その後，1930 年に結成したインドシナ共産党を母体に，41 年には反仏・抗日の主体となるヴェトナム独立同盟（ヴェトミン）を結成した。

問 11　③が誤り。クメールはカンボジアをさす言葉である。赤色クメールはポル＝ポトを指導者として 1976 年に民主カンプチアを樹立した。

問 12　基本問題。記述問題でも対応できるようにしておきたい。

問 13　基本問題。なお，阮福映は阮朝（越南国）の建国者である。

問 14　基本問題。ガーナは 1957 年に独立しており，サハラ以南のブラック＝アフリカで最初の独立国として重要。“アフリカの年”と呼ばれる 1960 年に独立した 17 カ国のうち，ベルギーから独立したコンゴ共和国では，カタンガ州の豊かな鉱物資源（ウランやコバルトなど）を狙いベルギーが介入してコンゴ動乱（1960 ～ 65）が起こり，ルムンバ首相が殺害されて国連軍が出動した。視察中のハマーショルド国連事務総長が事故死したことなどからも出題頻度が高いので要注意。

問 15　①が誤り。やや難問。ヴェトナム戦争開始は 1965 年，パリでのヴェトナム和平協定調印は 73 年であるが，ラオス人民民主共和国の成立は 75 年のため範囲外となる。なお，②の東南アジア諸国連合（ＡＳＥＡＮ）の結成は 1967 年，③のスハルトがインドネシアの大統領に就任したのは 68 年である。④のカンボジアでは 1970 年にシハヌークが訪中した間隙を突いて親米右派の軍部ロン＝ノル政権が成立し，これを合衆国軍が援助した。この結果，シハヌークを中心とする勢力とロン＝ノル政権・合衆国軍との間で内戦が勃発した。

【6】

解答

1　ＡＢ　　2　ＢＣ　　3　ＢＣ　　4　ＢＣ　　5　ＡＢ　　6　ＡＤ　　7　ＡＣ
8　ＣＤ　　9　ＡＤ　　10　ＡＢ

解説

古代～近・現代の朝鮮史についての正誤問題。正解を２つ選ぶ形式は解答しづらいが，内容としては教科書・資料集を精読していれば困らずに判定できるレベルである。間違えた問題については，選択肢を確認しておくこと。

1　Ｃ　楽浪郡が設置されたのは現在のピョンヤン（平壌）付近。朝鮮４郡の中心的存在として栄えたが，313 年に高句麗によって滅ぼされた。

D　前漢の武帝によって前108年に朝鮮を征服した際に設置された朝鮮４郡は，楽浪郡・真番郡・臨屯郡・玄菟郡の４つである。帯方郡は後漢末に楽浪郡南部を割いて設置された。

2　A　高句麗を建国したのは貊族でツングース系とされている。

D　太宗は唐の第２代皇帝（位626～49）で，628年に中国統一を完成したが，高句麗を滅ぼしたのは次の高宗（位649～83）の治世である。

3　A　新羅は辰韓が統一されて建国された。馬韓が統一されて建国されたのは百済。それぞれの場所も地図で確認しておこう。

D　新羅の首都は慶州。漢城（漢陽）を首都としたのは朝鮮王朝（李氏朝鮮：1392～1910）である。

4　A　高麗は918年に王建によって朝鮮半島中部に建国され，35年に新羅を滅ぼし，36年に朝鮮半島を統一した。王蒙は元末の文人画家で，南宗画の大成者とされる。

D　高麗はフビライによって元の属国とされた。

5　C　訓民正音（ハングル）は1446年に世宗によって制定された朝鮮固有の文字で，母音・子音合計28字（現在25字）から成る音標文字である。

D　日本の豊臣秀吉による朝鮮侵略は壬辰・丁酉の倭乱と呼ばれる。朝鮮側を援助したのは清ではなく明であった。豊臣秀吉の死によって侵攻は中断されたが，これによって朝鮮は国力に大きな打撃を受けた。

6　B　日朝修好条規が締結されたのは1876年のことである。江華島事件（1875）を契機に締結され，釜山ほか２港の開港，日本の治外法権の承認など，朝鮮に不利な片務的な内容であった。

C　甲申政変は，清仏戦争における清の敗北に乗じて，金玉均・朴泳孝ら開化派が1884年に日本の援助を受けて漢城で起こしたクーデタで，清軍の介入により鎮圧された。

7　B　朝鮮総督府は1910年の韓国併合と同時に設置された。天皇の直属機関で，初代総督は寺内正毅であった。伊藤博文は初代韓国統監（任1905～09）である。

D　ハーグ密使事件は，1907年，高宗がハーグでの第２回万国平和会議に密使を派遣したという事件である。

8　A　第一次世界大戦後の朝鮮における民族運動は，1919年３～５月に決行された三・一運動である。３月１日に独立宣言を発したが，日本軍により鎮圧された。1919年５月４日には中国で五・四運動が始まった。

B　日中戦争の開始は1937年である。

9　B　成立の順序が逆。1948年８月に成立したのは大韓民国。首都はソウルに置かれ，初代大統領には李承晩が就任した。

C　ソ連は中国の国連代表権問題で国連安全保障理事会を欠席したため，北朝鮮の軍事行動を侵略行為とする合衆国の提案が採択された。

10　C　全斗煥政権下で軍部の民主運動弾圧に抵抗したのは光州の学生・市民であった。

D　韓国がソ連との国交を樹立したのは1990年９月，盧泰愚政権下のことである。1991年には南北朝鮮の国連同時加盟に成功した。